

# 3月定例会

## 代表質問

### 自民クラブ

#### 庁舎の整備方針は？

**問** 1 今後の財源の問題も含め、事務の本庁方式への移行を目指した庁舎の整備について問う。

また、整備する理由や方針などを広く市民に知らせて、意見を聞きながら理解を求めることが大切だと思うが、どのように考えているのか。

**答** 庁舎の整備については、現在の本庁本館を利用し、別館を解体、不足部分を本館北側駐車場に増築しようとするもので、概算事業費としては、約39億円を見込んでいる。

庁舎整備には、国の財政支援措置のある合併特例債の活用が不可欠であるが、その適用期間が残り5年を切り、増築するほうが新しく土地を求めて新庁舎を建設するよりも、

将来的な市の財政への影響などを考慮すると経済的かつ効率的であり、最良の方法であると考えている。

なお、事務の本庁方式への移行時期は未定であるが、地域の拠点としての総合支所の在り方などについて検討していきたい。

また、庁舎整備について行ったパブリックコメントの応募者は39人であったが、じゅうぶんな数であるとは思っておらず、今後とも、機会を捉えて意見を聞きながら、市民に理解を求めていきたい。

### リベラル西条

#### どう検討する！

#### 庁舎周辺の道路整備など

**問** 2 現庁舎は、市街地に位置し一部狭い道路を通行して訪庁しなければならぬ。庁舎へのアクセス道路はどう整備していく考えか。

また、本庁方式により支所機能の縮小が考えられ、特に総合支所の空きスペースの有効活用や市民サービスの向上に対する取組について、どう検討されているのか。

### 答

庁舎へのアクセス道路の整備については、市街地内の道路整備計画や現在の交通状況などを勘案しながら、今後検討していきたい。

また、総合支所の空きスペースの活用については、合併時からの懸案であり、現在、丹原総合支所では図書館として一部活用している。今後、支所の在り方について協議を重ねていく中で空きスペースの活用策の検討を進めたい。

なお、将来的な本庁方式の導入に際して、特に市民サービス向上を重点課題として職員一丸となって考えていきたい。

### 市民クラブ

#### 庁舎整備に至った経緯は？

**問** 3 市庁舎については、本庁方式への移行を目指し、

平成22年度補正予算に庁舎整備基金積立金として10億円、平成23年度当初予算に実施設計委託料を中心に約8千200万円の予算が計上されている。現庁舎を改修・増築するに至った経緯について問う。

また、地域審議会では、それ

ぞれの地域によって庁舎の整備に対する賛否に温度差が見られたが、反対意見をどう受け止めているのか。

### 答

庁舎の整備については、現在の西条市の財政面をみたときに、後世に極力負担をかけさせたくないという思いがあり、合併特例債の活用を図ることや新庁舎問題調査特別委員会の報告を尊重し、新庁舎の整備よりも現庁舎の改修・増築という提案に至ったものである。本庁方式に移行する時期も一つのテーマであるが、それまでは総合支所の機能を強化し、本庁方式に移行してもじゅうぶんに対応できる体制をとりたい。また、これらのことは地域審議会において理解を求め、これからは臨んでいきたい。

### 日本共産党西条市議員

#### 本庁舎の一部建て替えを問う

### 問

4 財政難の折、庁舎の大幅改修は、その必要性もなく、床面積は現状でじゅうぶんである。改修すべきでない

と思うが、本庁舎の一部建て替えについて、内容と必要性を問う。また、事業費の概略、本館と別館の耐震改修に係る経費をどの程度予測しているのか。

### 答

庁舎整備の内容は、現在の本庁本館を利用し、別館を解体、不足部分を増築するものである。今後、事務の方式は合併協定のとおり本庁方式を実施し、スリムで効率的な行政体制を確立する必要がある、その受け皿としての庁舎の整備を図る必要がある。庁舎整備の全体事業費は約39億9千万円を想定している。主な内容として増築工事費が約33億円、本館の耐震も含め改修工事が約3億円、別館の解体と駐車場整備で約1億3千万円と想定している。

本館と別館の耐震改修経費は、概算で約3億円程度想定している。



市役所本庁舎